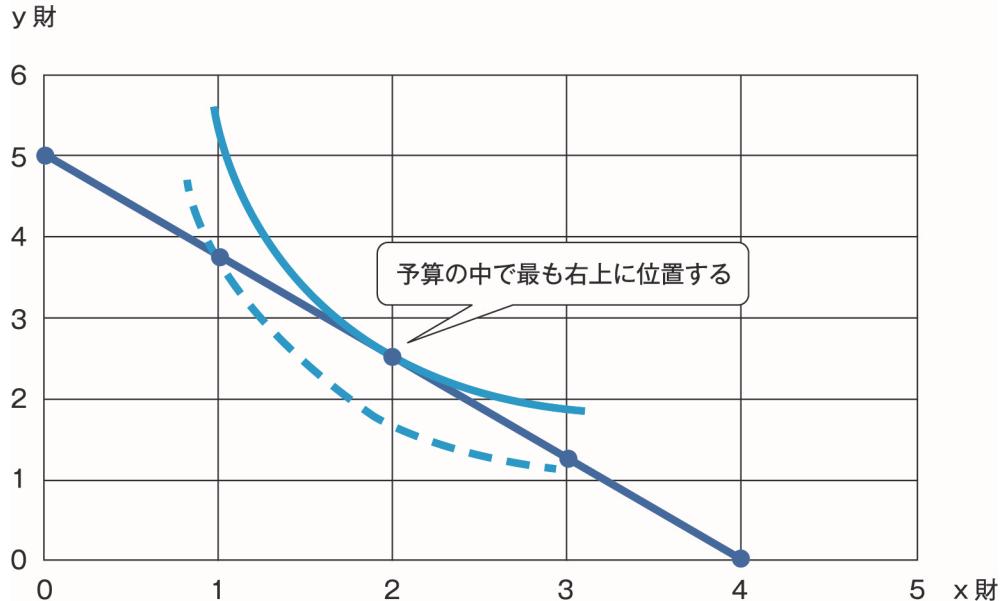


3 効用最大化

(1) 最適消費計画 A

右上に位置する無差別曲線ほど効用が高いことから、予算制約線と接する無差別曲線が最大効用を表す。これを満たす財の組み合わせを最適消費計画という。

図 最適消費計画



最適消費計画においては予算制約線と無差別曲線が接していることから、両者の傾きが等しくなる。予算制約線の傾きは価格の比であるし、無差別曲線の接線の傾きは限界代替率であり、限界効用の比と等しい。それゆえ、最適消費計画は下記のとおりとなり、これを、加重限界効用均等の法則という。



$$\begin{aligned} MRS &= \frac{MU_x}{MU_Y} = \frac{P_x}{P_Y} \\ &= \frac{MU_x}{P_x} = \frac{MU_Y}{P_Y} \quad (\text{加重限界効用均等式}) \end{aligned}$$